



社会医療法人彩樹

2023.12

豊中敬仁会病院だより



院長あいさつ

皆様、こんにちは。当院は、消化器疾患と腎・尿路疾患を専門とする急性期病院です。地域の皆様に高品質な急性期医療を提供する事を第一の使命としております。本年1月より60床すべての病床を急性期に変更し、ロボット手術、内視鏡治療、人工透析、シャント手術など、ますます安全で高度な専門的医療の提供体制が整って参りました。また、高齢化に伴って増加する救急医療にも積極的に取り組んでおります。私たちは地域社会に貢献し、信頼される病院を目指しています。今後とも当院をよろしくお願い申し上げます。



院長 堂野恵三



外科実績

昨年から外科、内視鏡ロボット手術センターが創設され、大腸癌手術は昨年132件、今年は150件を超える勢いで急増しています。大腸癌全てに保険適応となったダヴィンチによる精密なロボット手術が当院では標準的に行え、直腸癌の肛門温存も94%に出来ました。人工肛門を無くすべく質の向上に努めています。

また、良性疾患のヘルニアにもロボット手術の導入準備を進めています。

外科チームのみならず、内科や化学療法科を始め、安全な麻酔、周術期管理と安心の看護など病院全体がワンチームとなって取り組んでいます。

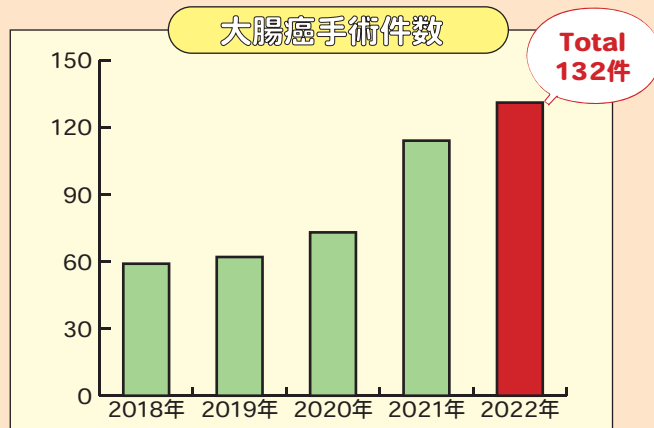
今後ともご高配、ご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



2022年	件数
全身麻酔	409
腰椎麻酔	28
局所麻酔	435

2022年	件数
胃癌切除	21(19)
結腸、直腸癌大腸腫瘍	132(131)
胆石、総胆管結石等疾患	93(92)
虫垂切除	23(23)
ヘルニア手術	87(70)
試験開腹術	14(14)
中心静脈ポート留置	62
その他	65

() 内は鏡視下手術



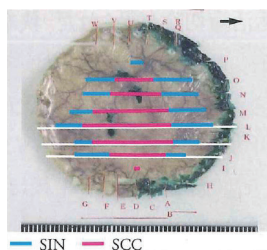
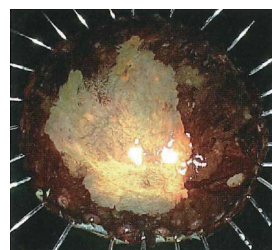
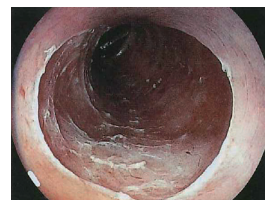
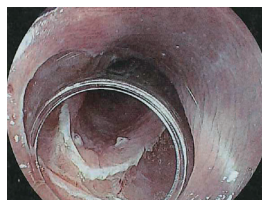
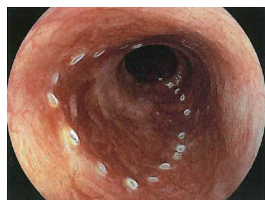


消化器内科実績

当院では内視鏡検査においても、ハイレベルな医療を目指しています。

内視鏡検査数も、年々増加しており、2022年の1年間では、上部3,000件以上、大腸内視鏡検査1,800件以上、全内視鏡検査4,900件を突破いたしました。

内視鏡的治療にも積極的に取り組み、大腸ポリープ切除術は991例行っています。早期がんに対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）も、上部45例、下部38例、あわせて年間83症例施行しております。そして、2021年度より、この領域において我が国の第一人者である豊永高史先生が非常勤医師として治療を行っています。



このようにESDを行っています



豊永高史, 光藤大地, 阪口正博, 前田環, 他 (2023) 食道ESD癒痕近傍病変に対するESD 『胃と腸』, 第58巻 第3号 別冊 より抜粋



検査実績

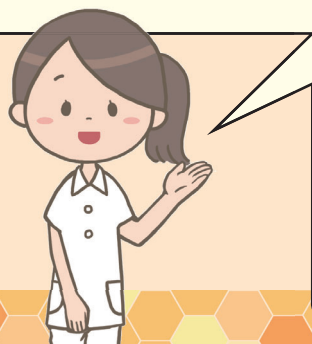
※集計期間：2022年1月～12月

2022年	件数
上部消化管内視鏡検査	3,165
内視鏡的腫瘍切除術・粘膜下層剥離術（ESD）	45
胃瘻造設術	35
下部消化管内視鏡検査	1,827
内視鏡的ポリープ切除術	991
内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）	38

BLS(一次救命処置)勉強会を開催しました

10月3日・10日に全職員を対象としたBLS（一次救命処置）の勉強会を行いました。

シュミレーターの人形を用いて、心肺停止の患者様の発見場面から指示出し、気道確保、胸骨圧迫、CPR（心肺蘇生法）の基礎の流れを学ぶという事を目標に2日間開催しました。今後も急変対応に関する定期的な勉強会を行い、患者様の急変にスムーズに対応できるよう、職員一同めざしていきます。



新任医師紹介



消化器内科医
吉永 寛

Hiroshi Yoshinaga

【当院に着任しての一言】
コンパクト

【趣味】

旅・観劇鑑賞
(クラシック・オペラ・古典芸能等)

【医者になってなかったら】
わかりません

【マイブーム】
整理整頓

泌尿器科実績



私が治療します



守口敬仁会病院
腎・前立腺
ロボット手術センター長
南 幸一郎 医師

泌尿器科では、最新の技術を用いて前立腺肥大症や尿管結石の治療に取り組んでおります。泌尿器科医師が常勤するようになった2022年4月から2023年9月までの手術実績は、経尿道的レーザー前立腺切除・蒸散術が56件、経尿道的尿管ステント留置は51件となっており、治療件数は増加しております。

現在、当院で行っている治療法については、主に下記の3つとなっております。今後も、患者様に合った治療法をご提案し、治療を進めてまいります。

●前立腺レーザー蒸散術(PVP)

PVP は内視鏡を用いて経尿道的に行う前立腺肥大症に対する手術療法で、下腹部や陰部を切開することはありません。内視鏡より挿入した石英ファイバーから波長532nmの高出力レーザーを照射し、肥大した前立腺組織を蒸散させて、尿路のつまり(閉塞)を取り除く治療法です。従来の手術療法に比べ、身体への負担が少ないだけでなく、高い治療効果も得られる画期的な治療法です。



●前立腺水蒸気治療

Rezum(レジューム)システムを使用して、103℃の水蒸気を9秒間噴霧し、前立腺組織を約70℃まで上昇させ組織を壊死する治療を行います。既存の前立腺肥大症に対する温熱療法とくらべ、水蒸気を利用しているため対流によってムラのない治療効果が実現され、尿道粘膜や性機能温存を可能としました。

治療時間は15分程度で、治療効果は、おおよそ2週間程度、長くても3カ月後には排尿状態の改善が期待できます。麻酔は全身麻酔や腰椎麻酔のほか、静脈麻酔や局所麻酔に尿道麻酔を追加することでも行えます。麻酔方法によって入院(1~2泊)または外来手術として行います。手術は3~10分程度で終了します。

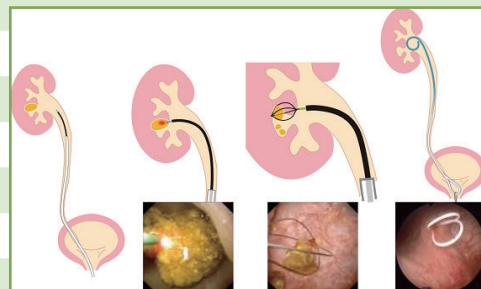
治療後は、一時的な前立腺のむくみが生じるため、1週間程度の尿道カテーテルの留置が必要になります。



●経尿道的尿管結石レーザー破砕

f-TULは、軟性(もしくは硬性)尿管鏡を尿管や腎まで挿入し、直接結石を確認しながら、レーザーを用いて破砕します。破砕された結石はバスケットカテーテル(結石をつかむ器具)で回収するため、安全かつ確実に破砕から摘出が可能です。

入院期間は5~7日間です。



手術・検査実績

手術・検査	2022年	2023年
経尿道的レーザー前立腺切除・蒸散術 (PVP)	26	40
経尿道的尿管ステント留置	19	42
前立腺生検	9	14
経皮的放射線治療用金属マーカー留置術	1	30
経尿道的結石破砕術 (TUL)	3	13
経尿道的水蒸気治療 (REZUM)	2	2
経尿道的膀胱腫瘍切除術	2	2
膀胱鏡検査	29	69
その他	9	24
合計	100	236

※集計期間：2022年…2022年4月~12月

2023年…2023年1月~9月と10月~12月実施見込を含む



新任医師紹介



泌尿器科医
郷司 和貴
Kazutaka Goji

【当院に着任しての一言】

豊中市出身ということもあり、地域に寄り添った医療を目指して参りますので、何卒よろしくお願い致します。

【趣味】

旅行やドライブ

【医者になってなかったら】

物理学での研究職

【マイブーム】

最近は甥を可愛がっています。

ざく切り野菜のポトフ

1人前：250kcal

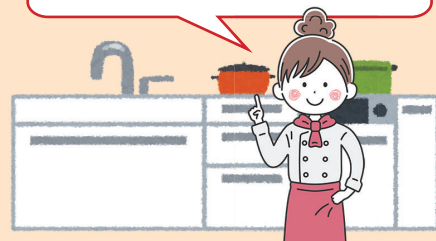
<材料>

ウインナーソーセージ	2本
キャベツ	100g
じゃがいも	60g
にんじん	30g
タマネギ	25g
鶏肉	25g
ブロッコリー	25g
水	1カップ
コンソメキューブ	1/2個
粒マスタード	適量



ポイント

材料を気持ち大きめに切っておくことで煮崩れしにくくなり、見た目が良く、食べ応えも満点です！



<作り方>

1. キャベツ、じゃがいも、にんじん、タマネギ、ブロッコリー、鶏肉を好きな大きさに適当に切る
2. 鍋に水、コンソメ、1でカットしたブロッコリー以外の食材を入れて煮立ってから15分さらに煮る
3. ソーセージ、ブロッコリーを加えて5分煮る
4. 器に盛り付け、お好みで粒マスタードを添える

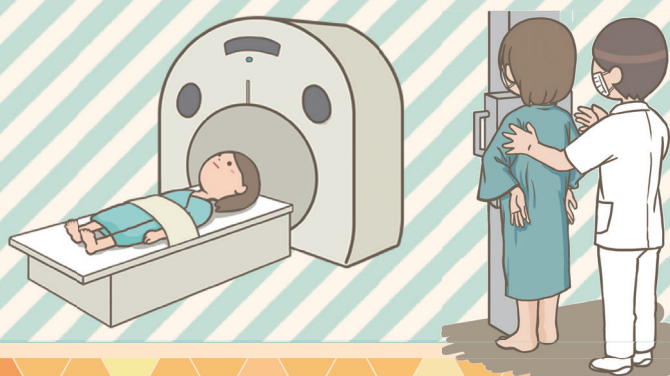


部署紹介 -放射線科-

放射線科では、放射線科読影医1名・診療放射線技師4名にてX線一般撮影・CT撮影・MRI撮影ならびに消化管造影検査や血管造影検査など行っています。

高性能な装置を導入し、より正確により鮮明により迅速に患者様の放射線科滞在時間を短縮した画像提供ができるように業務を行っています。毎日大切にしていることは、患者さんと関わる時は常に笑顔で寄り添い、不安が少しでも軽減出来る検査を心掛けていることです。

院内だけでなく地域連携室を窓口、近隣の医療機関の先生方からも検査依頼をお受けしています。『検査依頼を出すなら豊中敬仁会病院』と言っていただけるような所見・画像提供ができるようなチーム医療に取り組んでいきますので、これからもよろしくお願い致します。



検査実績

	2021年	2022年	2023年
CT検査	5,043	5,385	5,393
MRI検査	1,666	1,866	1,834

※集計期間：2021年…2021年1月～12月
2022年…2022年1月～12月
2023年…2023年1月～10月

